

健康をサポートするのは 信頼できる薬局・薬剤師

✕ ジェネリック医薬品とかかりつけ薬局 ✕



「信頼できる薬局や薬剤師をぜひ見つけて、かかりつけにしてほしい」と話す阿久根先生(左)と和田由紀健康リポーター

効き目や安全性は 変わらずに低価格

ジェネリック医薬品とはどんな医薬品ですか？
阿久根先生／新薬の特許が切れた後に販売される後発医薬品のこと。効能、効果も同じ有効成分、効果、効果ももちろんながら、先発医薬品よりも安いという特徴があります。

医療費抑制に効果があるとして注目されている「ジェネリック医薬品」。その効き目や安全性は実証済みである上、開発費が大幅に削減されているため安価で経済的ですが、まだまだ普及が進んでいないのが現状です。そこで国保でHOT情報ではジェネリック医薬品の特徴やメリットのほか、薬に関して気軽に相談できる「かかりつけ薬局」について、(社)鹿児島県薬剤師会理事で(有)センヤクあさがお薬局長の阿久根憲造先生にお話を伺い、11月2日と9日の2週にわたってお伝えしました。

価格が安いことでどんなメリットがあるのでしょうか？

阿久根先生／価格は品目ごとにさまざまですが、患者さんの自己負担が軽くなりますし、医療保険財政の改善にもつながるので。

効き目や安全性はどうなのですか？

阿久根先生／それは新薬と同じです。国では先発医薬品と同レベルの品質や有効性、安全性を有するかどうか、欧米と同様の基準で審査しているのです。ただし、薬の形や色、味は異なる場合があります。

日本で第2位の普及率

海外でも使われているのでしょうか？

阿久根先生／欧米では幅広く使われています。アメリカやイギリス、ドイツなどでは、国の医療費削減目的でジェネリック医薬品の使用



ジェネリック医薬品の在庫管理は経営面の負担はあるが、患者さんにより安価な薬を提供できる

を推奨する政策が進められており、これらの国で使われている医療用医薬品の約半分がジェネリック医薬品です。わが国におけるシェアは、数量で約23%、薬剤費で約9%。まだまだ普及が進んでいないのが現状のようです。

私たちがジェネリック医薬品を使いたいときはどうすればよいですか？

阿久根先生／医師の診察時に、希望する旨を伝えてください。できなかった場合は薬剤師にご相談ください。また、こちらからジェネリック医薬品をお勧めするときは、事前に患者さんの同意をいただき、必要があれば費用がどのくらい少なくなるのか、お知らせすることもできます。

当薬局は、
後発医薬品(ジェネリック医薬品)
の調剤を積極的に行っています。

後発医薬品調剤体制を推進する薬局



後発医薬品への変更を希望される方は、
薬剤師にご相談ください。

後発医薬品への変更ができません(商品名)の場合は、
別にお薬手帳に記入してください。

(社)鹿児島県薬剤師会

——ジェネリック医薬品が使えるない場合もあるのですが。

阿久根先生/例外的に医師が「ジェネリック医薬品に変更することが好ましくない」と判断した場合は、その旨が処方せんに記載され、変更できないこともあります。また、対象となる医薬品の在庫がなく、即座に要望に応えられない場合もあります。保険薬局にとってジェネリック医薬品を採用することは、在庫管理や経営負担の面からみても大変なことですが、より安価な薬を提供できるというメリットがあります。日本における本県のジェネリック医薬品の普及率は、沖縄県に次いで第2位なので、今後ますます普及の取り組みを進めていきたいですね。

薬や家族の健康に いたるまで親身に相談

——さて、最近よく耳にする、かかりつけ薬局について教えてください。

阿久根先生/お薬について親身になって相談に応じてくれる薬局のことです。患者さん自身や家族の健康についても、薬の面から分かります。詳しく相談のつてくれます。

——具体的にはどのようなメリットがあるのですか。

阿久根先生/保険薬局ではまず、薬の服用履歴(薬歴)を作り、患者さんの治療経過を記録していますから、薬に関する疑問なども、気軽に聞くことができます。薬歴は薬を重複して処方したり、悪い相互作用等を未然に防ぐためにも、役立っているのです。

——それは安心ですね。でも、いくつかの病院を受診し、それぞれ薬を処方されている患者さんいらっしゃいますよね。

阿久根先生/そんなときはお薬の飲み合わせや、重複した処方をしつかり確認して医師に連絡するなど、リスクの高い症状が出ないように気をつけています。

お薬手帳や
かかりつけ薬局の
役割って、
本当に大切
なんですわ!



調剤の仕方にもひと工夫

——かかりつけ薬局として、どのようなことを心がけていますか。

阿久根先生/患者さんの症状や生活状況に応じた調剤を心がけています。薬の種類が多いために飲み忘れてしまう患者さん、物忘れなどの症状のため服用を間違ってしまう患者さん、薬をプラスチックシートから取り出せない状態にある患者さんには、1回の服用ごとに薬をまとめて調剤するなど、工夫して渡しています。

——ところで、このお薬手帳(右写真参照)はどのように使われている

のですか。

阿久根先生/薬の種類や名称、飲み方、量、服用期間等が、調剤された日付とともに正確に記入されます。また、この手帳を薬局が記録するときは、医療機関や薬局の連絡先のはか薬剤師名も記載されるので、必要な情報も問い合わせることが可能。例えば入院のときなど役立ちます。

——かかりつけ薬局をもつことは大切なことです。

阿久根先生/そうですね。それによつて患者さんに応じた適切なサービスを提供しやすくなりまますし、また、患者さんにとっても受診しやすくなるという面があります。

——かかりつけ薬局を選ぶ目安はありますか。

阿久根先生/患者さんにとって、便利な場所(フライバイシーへの配慮がされている「営業時間外でも気軽に相談に応じてくれる」——等が、目安になると思います。しかし、もつと大切なことは、皆さまにとつてその薬局や薬剤師が信頼できるかどうか。ぜひそんなところを探して、選んでいただきたいですね。